

【徳島県指定（平成18.4.21決定）文化財】

有形文化財(考古資料)・・・3件

1

(1) 名称及び員数 袈裟禪文銅鐸(三好市西祖谷山村榎 銚神社蔵) 1口

(2) 所在地 徳島県三好市西祖谷山村榎400番地

(3) 所有者 宗教法人 銚神社  
管理者 三好市教育委員会

(4) 指定理由

当物件は、三好市西祖谷山村榎の銚神社に宝物として所蔵されている。総高約46.1cmの袈裟禪文銅鐸であり、過渡期の特徴を持つ全国的にも類例の少ない型式の銅鐸である。小杉榎邨こすぎすぎむらが集めた古記録を刊行したの『阿波国徴古雑抄』あわこくちょうこざっしょう(1913)で初めて紹介された。言い伝えでは、明治時代に鑄掛屋いかけやが銅鐸を持ち出し打ち割ったものを銚神社の氏子たちが取り戻したとされ、神社の宝物として祀られてきた。高知県東部に分布する新段階の銅鐸の祖型となるもので学術的に価値の高い銅鐸として、貴重である。

2

(1) 名称及び員数 萩原一号墓出土品 一括

(2) 所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2

(3) 所有者 徳島県  
管理者 徳島県立埋蔵文化財総合センター

(4) 指定理由

当物件は、昭和54年に県道鳴門池田線改良工事に伴い発掘調査された鳴門市大麻町萩原所在の萩原墳墓群はぎわらふんぼくぐんの一号墓出土品である。調査において萩原一号墓は弥生時代終末期の墳丘墓として捉えられ、古墳の発生に大きな役割を担ったものとして全国的にも評価が高い。平成12年奈良県桜井市のホケノ山古墳の発掘調査において、萩原一号墓と類似した型式の木槨もっかくが発見されて再評価された。当該出土品は、主体部の副葬遺物ふくそうと供献土器群きょうげんどうきである。これらは瀬戸内地域や近畿地方とのつながりを示し、徳島県のみならず、古墳の発生を考える上で、貴重な考古資料である。

3

- (1) 名称及び員数 にしやまだににごうぶん 西山谷二号墳出土品 一括
- (2) 所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字平山86番2
- (3) 所有者 徳島県  
管理者 徳島県立埋蔵文化財総合センター

(4) 指定理由

当物件は、平成11年から12年に四国横断自動車道建設の伴い発掘調査された鳴門市大麻町大谷の西山谷二号墳の出土品である。調査において西山谷二号墳は3世紀中葉のちゅうよう 葉のたてあなしきせきしつ 竪穴式石室をもつ古墳として高く評価され、石室は埋蔵文化財総合センターに移設保存されている。申請の出土品は石室内のふくそつ 副葬遺物であり、どうきょう 銅鏡をはじめてっけん 鉄剣、てっそう 鉄槍、てつぞく 鉄鏃(鉄の矢尻)、やりがんな ? (木材表面を削る工具)、土器などである。

徳島県の古墳の発生を考える上で、貴重な考古資料である。

【参考資料】

国指定重要文化財(考古資料)	3件	国指定全体	89件
徳島県指定有形文化財(考古資料)	10件	県指定全体	325件 328件
重要美術品(考古資料)	2件	(国の旧法)	

別添一覧表のとおり

- 1 県内の銅鐸について  
伝承も含め44口出土(全国第2位)している  
うち、現在県内に存在する銅鐸は13口 指定状況は別添資料のとおり
- 2・3 墳丘墓・古墳の出土品の指定は県内初めて

【新指定文化財の展示公開】

期間 4月22日(土)～5月7日(日) 月曜休館(4/24, 5/1)  
場所 板野郡板野町犬伏字平山86-2  
徳島県立埋蔵文化財総合センター 展示室